

ESD-J 会員のみなさま

世界経済フォーラム (WEF) は 6 月 21 日、「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告 2023 (Global Gender Gap Report) 2023」を公表しました。

https://www3.weforum.org/docs/WEF_GGGR_2023.pdf

グローバル・ジェンダー・ギャップ報告が用いる指標は、健康、教育（の平等）、経済的な参加と機会、政治参加の 4 つです。これらの指標を用いて評価した結果、2023 年には、

- アイスランドは過去 14 年間世界で最もジェンダー・ギャップのない国です。ノルウェー、フィンランド、ニュージーランドが 2~4 位と続きます。
- 北欧諸国は引き続きジェンダー・ギャップの解消に関し世界をリードしています。
- ジェンダー・ギャップはグローバルに見ると 2019 年レベルにまで後退しました。世界のジェンダー・ギャップを解消するためには、現在の進捗レベルでは 131 年かかると予測されます。
- 健康、教育については、昨年から少し改善しました。政治的なエンパワーメントもわずかに改善されましたが、ギャップの解消には長期間がかかりそうです。経済参加と機会については悪化しており、この指標についてジェンダー・ギャップが解消するには 169 年かかると予測されます。
- ラテンアメリカ・カリブ海諸国、ヨーロッパ、サハラ以南のアフリカは、報告書の初版以来、最も全体的な改善を示しています。

- アメリカ・カリブ海諸国、ヨーロッパ、サハラ以南のアフリカは、報告書の初版以来、最も全体的な改善を示しています。
- 何十年にもわたる文化的偏見と不平等が世界の男女平等の改善を妨げてきました。このままでは、2030 年までに SDGs5 のジェンダー平等の目標を達成すること困難です。
- IMF によると、女性の労働力市場への参入を平等にすることにより、経済生産を 3 分の 1 以上増加させる可能性があります。

日本のジェンダー・ギャップ指数は 146 カ国中 125 位で、前年の 116 位から下がり、2006 年の公表開始以来、最低でした。分野別にみると、政治が世界最低クラスの 138 位で、男女格差が埋まっていないことが改めて示されました。G7 諸国の中では、ドイツ (6 位)、イギリス (15 位)、カナダ (30 位)、フランス (40 位)、アメリカ (43 位)、イタリア (79 位) と比べてダントツに低いです。アジアではフィリピン (16 位)、シンガポール (49 位)、ベトナム (72 位)、タイ (74 位) などが比較的上・中位に位置しています。日本は、近隣の韓国 (105 位) や中国 (107 位) と比べても低い状況にあります。

なお、過去のグローバル・ジェンダー・ギャップ報告は、以下のウェブサイト~アクセスできます。
<https://www.weforum.org/reports/global-gender-gap-report-2023>